

長谷川茂教授古稀記念号発刊の辞

社会科学学会会長 大西 泰博

長谷川茂先生は、社会科学部が創設された3年後の1969年に、社会科学部の専任講師となられ、その後39年の長きにわたって、社会科学部の発展のために多大のご尽力をいただきましたが、2008年3月をもちまして、定年のためにご退職されました。

先生は、学部におかれましては、会計学をご担当され学部学生の教育に、また大学院におかれましては、財務会計論をご担当され大学院生の研究指導に、それぞれ力を注がれました。

会計学は、たいへん難しい学問という印象を個人的には持っておりましたが、それでも先生から、ときどきお話をお伺いする中で、会計を通して会社のあり方等を考える学問であると理解するにいたりました。長谷川先生の講義を受けられた学生、あるいは先生のゼミで学ばれた学生は、ほんとうにおもしろい学問を学ばれたのだなと思いますと同時に、たいへん熱心に講義をなさる先生のお姿が、目に浮かんでまいります。

先生からいただきましたご略歴を拝見いたしましたところ、最初のほうに、「市立東国民学校の2年生の時、1945年7月12日宇都宮空襲で家を焼かれ友達を失う。」との記述が見受けられますが、たいへんなご経験をされ、そのことが長谷川先生のいろいろな事柄の原点になっているような気がします。

たとえば、先生は、おそらく教授会は一度も休まれたことはないのではないのでしょうか。教授会に出ることは、権利であるとともに義務でもあります。なかなか実行が案外難しいところがあるように思われますが、現在を大切にされ、出来る時に出来る事はやり遂げようといったお考えがあり、そのことは、小学生のときの

ご体験から来ているのではないかな、と密かに思っております。

さて、先生は、早稲田大学商議員を1991年から1994年まで務められました。また、早稲田実業学校評議員を1998年から2006年まで務められました。本当にご苦勞様でした。

ここに先生の古稀をお祝い申し上げたいと存じます。また、これまでの社会科学部ならびに社会科学研究科におけます先生の多大なるご尽力に対しまして、厚くお礼申し上げますとともに、先生がこれからもますますお元気にて、ご活躍されますことを祈念いたしたいと存じます。

長谷川茂教授年譜・主要著作目録

年 譜

- 1937年11月 栃木県宇都宮市にて出生
(市立宇陽幼稚園を経て入学した市立東国民学校の2年生の時、1945年7月12日宇都宮空襲で家を焼かれ友達を失う。この日と前後して戸祭国民学校、上三川国民学校、そして東国民学校(後に学制改革で東小学校)と転校を強られる)
- 1953年 3月 市立陽北中学校卒業
- 1956年 3月 県立宇都宮商業高等学校卒業
- 1961年 3月 早稲田大学第一商学部卒業
- 1963年 3月 早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了
- 1965年 4月 福島大学経済学部助手
同年同月 一橋大学大学院商学研究科・飯野利夫教授の下で内地研究(1966年3月まで)
- 1966年 3月 早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学
- 1966年10月 福島大学経済学部専任講師
- 1967年 4月 福島大学併設経済短期大学部兼担専任講師(1969年3月まで)
同年同月 福島大学経済学部教務委員(入試担当)(1968年3月まで)
- 1969年 4月 早稲田大学社会科学部専任講師
同年同月 福島大学経済学部非常勤講師(1970年3月まで)
- 1970年 4月 早稲田大学社会科学部助教授
- 1972年 4月 早稲田大学商学部兼担助教授(1973年3月まで)
- 1975年 4月 早稲田大学社会科学部教授
- 1980年 4月 西ドイツ・アウグスブルク大学経営学部・A. G. ケーネンベルク教授の下で在外研究(1982年3月まで)
- 1984年 4月 早稲田大学政治経済学部兼担教授(1993年短期在外研究期間(4月～9月)を除き2008年3月まで)
- 1988年 4月 小野 梓記念賞・学術賞選考委員会委員長(1989年3月まで)
- 1992年 4月 早稲田大学商議員(同年11月まで)
- 1993年 4月 ドイツ・アウグスブルク大学経営学部・A. G. ケーネンベルク教授の下で在外研究(同年9月まで)
- 1994年 4月 早稲田大学大学院社会科学研究科(新設)教授
- 1998年11月 学校法人 早稲田実業学校評議員(2006年11月まで)

- 2002年 6月 東京経済大学経営学部非常勤講師(2003年3月まで)
2004年 9月 早稲田大学社会科学総合学術院教授
2006年 4月 早稲田大学大学院法務研究科兼任教授(2007年3月まで)
2008年 3月 早稲田大学を定年退職

(備考)

なお、早稲田大学において、システム科学研究所管理委員、エクステンションセンター管理委員、および産業経営研究所兼任研究員をそれぞれ複数回、ならびに小野 梓記念賞・学術賞選考委員会委員を再度と、全学審議会委員・同 議事運営委員会委員を、兼任したが、期間の記憶が曖昧なので省略する。

主要著作目録

1 著書

『会計の社会言語論的展開』森山書店、2008年3月

2 共編著

『会計学説と会計数値の意味』(監修者 渡辺陽一氏、共編著者 新田忠誓氏)森山書店、1998年9月

3 分担執筆

『会計学大辞典』(編者 太田哲三氏外、その後、重版ごとに編者交替)中央経済社、1971年1月(最新の第5版、2007年5月)

『厳選・財務諸表論問題演習』(編者 染谷恭次郎氏)中央経済社、1973年5月(改訂版、1975年7月)

『簿記論ケース・スタディ』(編者 黒沢清氏)東京教育情報センター、1973年11月(新訂版、1975年10月)

『簿記検定・3級商業簿記』(編者 新井清光氏)税務経理協会、1973年12月(改訂版、1983年1月)

『最新・簿記通論』(編者 早大会計学研究室)中央経済社、1977年5月(改訂版、1983年4月)

『厳選・簿記問題演習』(編者 中村忠氏)中央経済社、1977年5月

『テキストブック会计学(3)財務諸表論』(編者 高田正淳氏)有斐閣、1979年12月

『演習・財務諸表論』(編者 新井清光氏)中央経済社、1980年5月(改訂版、1984年11月)

『経営分析辞典』(編者 小川冽氏)中央経済社、1991年3月

『新簿記検定・3級商業簿記』(編者 新井清光氏)税務経理協会、1992年5月

4 論文等

- 「貨幣価値変動会計の再検討」早大大学院商研『商経論集』第9号、1965年3月
- 「財務会計目的の遂行と貨幣価値変動」福島大学経済学会『商学論集』第34巻第3号、1965年11月
- 「貨幣価値の変動と利益の把握」『商学論集』第35巻第1号、1966年6月
- 「貨幣価値の変動と資本維持」『商学論集』第37巻第4号、1969年3月
- 「貨幣価値の変動と実現概念の展開」『早稲田社会科学研究』第6・7合併号、1969年12月
- 「企業への投資意思決定のための利益」『早稲田社会科学研究』第10号、1971年9月
- 「現金・預金の処理」『税経セミナー』第16巻第14号、1971年11月
- 「投資家の意思決定と予算の公開」『企業会計』第25巻第10号、1973年10月
- 「演習講座『簿記論』」『税経セミナー』第18巻第15号、1973年12月
- 「長期株式投資家の意思決定と予算の公開方法」『早稲田社会科学研究』第13号、1974年2月
- 「附属明細表の作成とその手続」『税経セミナー』第19巻第15号、1974年12月
- 「企業予算の外部公開と会計(予算)原則」『早稲田社会科学研究』第15号、1976年2月
- 「(FASB暫定意見書)企業財務諸表の目的」『企業会計』第29巻第5号、1977年5月
- 「予測会計情報の外部公開と会計原則」『会計』第113巻第2号、1978年2月
- 「外部報告制度と予測会計情報」飯野利夫先生還暦記念論文集刊行会編『財務会計研究』国元書房、1979年11月、所収
- 「物価変動会計の将来」染谷恭次郎先生還暦記念会編『財務会計の基礎と展開』中央経済社、1983年4月、所収
- 「会計学と研究方法」『早稲田社会科学研究』第32号、1986年3月
- 「会計の言語性と国際的調和」『会計』第144巻第2号、1993年8月
- 「会計の社会言語性とインサイダー取引」『JICPAジャーナル』Vo1. 7 No. 3、1995年3月
- 「会計と社会言語的特性」飯野利夫先生喜寿記念論文集刊行会編『財務会計の研究』税務経理協会、1995年11月、所収
- 「取得原価基準における取得原価の意味」『会計』第149巻第1号、1996年1月
- 「時価評価と損益計算」『会計』第153巻第1号、1998年1月
- 「非財務諸表情報と会計」『会計』第161巻第5号、2002年5月
- 「会計と複式簿記の接点」塩原一郎先生古希記念会編『財務会計—継承と変革の狭間で—』創成社、2004年3月
- 「会計改革と複式簿記」『会計』第171巻第6号、2007年6月

5 書評

- 「フロイド・W・ウィンダール著『会計学的実現概念』『商経論集』第8号、1964年3月
- 「R. S. ガインサー著『物価水準変動会計—理論と手続—』『商学論集』第35巻第4号、1967年3月
- 「杉本典之著『会計理論の探究』『企業会計』第45巻第2号、1993年2月

6 学会報告

- 「貨幣価値変動と損益計算」東北経営・会計研究会(第3回大会)(於)福島大学、1966年5月
- 「投資意思決定と予測情報」日本会計研究学会(第33回大会)(於)札幌大学、1974年9月
- 「予測会計情報の外部公開と会計原則」日本会計研究学会(第36回大会)(於)大阪大学、1977年5月
- 「パックス・ニボニカと会計」日本会計研究学会(第47回大会)(於)慶応大学、1988年9月
- 「会計の言語性と国際的調和」日本会計研究学会(第51回大会)(於)札幌学院大学、1992年9月

7 その他

- 「昭和42年度第2次試験・会计学・解答解説」『不動産鑑定士試験便覧(43年版)』中央経済社、1968年3月
- 「コース通信添削・財務諸表論」『会計人コース』Vol. 4 No. 1、1969年1月
- 「同上」『同上』Vol. 5 No. 1、1970年1月
- 「(対訳)イギリス・有価証券上場規程(抜粋)」(共訳)日本証券経済研究所、1974年2月
- 「論壇・私大の共通試験参加は疑問」『朝日新聞(朝刊)』1985年4月1日
- 「商業教育と大学進学」栃木県高等学校教育研究会商業部会『栃木県商業教育』第26号、1989年3月
- 「第19回関東部会記」『日本簿記学会ニュース』No. 36、2003年12月
- 『社会科学部報』学生向けエッセイ 2編、紹介記事 1編